

アメリカ発



# 最新歯科医療レポート

Vol.13 リポーター：和田圭祐



和田圭祐=1970年5月9日生まれ。広島大学歯学部卒。名古屋大学医学部大学院で医学博士号を取得後、米国ハーバード大学大学院で歯学博士号取得。米国歯周病専門医。米国歯周病学会(AAP)認定医。現在ペンシルベニア大学歯学部でインプラント学ディレクターとして教鞭をとる傍ら、インプラント学術誌において世界最高峰といわれるJOMI誌の編集委員を務める。医療法人東陽会和田歯科医院インプラント・歯周病担当医

「歯がしみる」といった症状で来院される患者様にはしばしば周りの歯茎が薄く、縮んでしまつて歯の根の部分が一部露出している状態がしばしば見られます。アメリカ歯周病学会(AAP)による最新分類ではこの状態を歯肉歯槽粘膜異常とし、歯周病専門医による注意深い管理または治療を—と推奨しています。歯茎には直接歯の周りについている硬い歯茎と、その周りにある柔らかい歯茎の2種類があります。硬い歯茎がなくなつて柔らかい歯茎だけになると、歯茎がさらに縮んでいく悪循環に陥りやすくなります。

## 縮んだ歯茎を元に戻す

写真1は「歯がしみる、歯ブラシが痛くて歯がよく磨けない、ま



写真1：右下奥歯の歯茎の退縮。この状態では歯がしみる、歯ブラシが痛くやりにくいなどの訴えがみられる。薄い歯茎でさらなる歯茎の退縮が予測される。



写真2：術後4年。縮んだ歯茎は元に戻り、安定している。歯ブラシ時における知覚過敏もなくなり、見た目も自然になった。

審美歯周形成外科

## 歯を守るための予防的治療

「見た目もきれいにしてほしい」といわれて来院された患者様です。奥歯の堅い歯茎が縮んでしまつて歯の根の一部が少し露出していました。3ヶ月後の検査で、さらに歯がしみる症状や歯茎の退縮が進

見た目を改善し堅い歯茎を作つたことで、歯ブラシもすっかりできる環境を作ることができました。写真2は4年後の写真ですが、痛みは消え、歯茎の退縮もなく安定しています。

んでいたので、縮んでしまつた歯茎を元に戻すために歯茎の移植を行いました。失われた歯茎を元に戻し、露出した歯の根をカバーすることで歯のしみを防ぎ、さらに

歯を支える歯茎を治療することは歯を長期的に守るための大事な予防的治療としてアメリカでは広く認知され行われています。

FRIENDLY DENTAL OFFICE



医療法人 社団 東陽会

# 和田歯科医院

詳しくは当院のインプラント専用サイトをご覧ください  
<http://www.wada-implant.net/>

(ムシバゼロ)

Tel. 0847-52-6480

予約制

福山市新市町新市695-2

<バス通り沿い・駐車場完備>

院長 和田 勝 / 和田 圭祐

広島大学歯学部卒、名古屋大学医学部大学院口腔外科学修士課程卒(医学博士) ハーバード大学歯学部大学院歯周病専門医課程修了(歯学博士) 現ペンシルベニア大学歯学部インプラント学主任ディレクター